

県政特集-1
救急医療システム



とちぎ
県民だより
9
2003
月号
編集・発行 栃木県広報課
平成15年9月15日発行

〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20
TEL 028-623-2192 FAX 028-623-2160
栃木県のホームページ <http://www.pref.tochigi.jp/>

栃木県の人口 [8月1日現在]
2,010,654人(前月比+447人、前年同月比+1,290人)
◎男998,253人 ◎女1,012,401人 ◎世帯数694,915世帯
栃木県毎月人口推計速報

**いつでも安心して
医療が受けられる
システムづくり**

私たちの健康・命を支えてくれる大切な医療。それは安心して生活を送るために欠かせないものです。県では、県民の皆さんが必要な時に必要な医療が受けられるよう、救急医療体制の整備などに積極的に取り組んでいます。

子どものための病院
「とちぎ子ども医療センター」
を整備中です



「とちぎ子ども医療センター」の整備イメージ図

現在、子どものための病院「とちぎ子ども医療センター」の整備をすすめています。「とちぎ子ども医療センター」は、自治医科大学センターと獨協医科大学センターからなり、それぞれ自治医科大学、獨協医科大学の敷地内に大学病院に隣接してつくられます。専門医等が高度で専門的な医療を提供する、子どものための病院です。

- ◆獨協医科大学とちぎ子ども医療センター(来年度オープン予定)
 - 白血病などの血液疾患、成長障害などの内分泌疾患に対する診療を強化するなど高度専門医療を提供します。
- ◆自治医科大学とちぎ子ども医療センター(平成18年度オープン予定)
 - これまで県内では手術が困難だった先天性心疾患、最近増えてきている発達障害や精神・心理疾患などに対する高度専門医療を提供します。

◇問合せ 児童家庭課 ☎028-623-3241

ご存じですか
救急医療のシステム

急な病気やケガをしたとき、夜間や休日でも診療が受けられる救急医療のシステムをご存じですか。県では、県民の皆さんが安心して暮らせるよう、県内を十地域(救急医療圏)に分け、症状の程度に応じて三段階で対応する救急医療システムをつくっています。

症状の軽い方(初期)は市町村等が開設している休日夜間急患センターや在宅当番医で、入院を必要とする方(第二次)は県内二十七病院が交代で、特に症状の重い方(第三次)は県内五つの病院に設置している救命救急センターで診療が受けられる仕組みになっています。

特別な課題には
特別な取り組みを

また、課題とされる小児医療や脳卒中医療については、それぞれ次のような救急医療体制の整備をすすめています。

◆小児救急医療体制
本県の救急患者のうち子どもが占める割合は約三割。子どもは医師に症状をうまく伝えられない、症状が急変することがあるなどの事情から、

小児の専門医による診療が求められています。しかし、小児科医は全国的に不足しており確保が難しい現状にあります。このため県では、昨年度から小児も診療ができる医師を増やすための研修会を開催しています。また、休日・夜間でも小児科医等の診療が受けられるよう、小児救急医療体制の整備をすすめています。



脳卒中救急医療体制

本県の脳卒中による死亡率は他の都道府県に比べ依然として高く、大きな課題となっています。脳卒中にならないための予防対策はもちろんですが、脳卒中を起こしてしま

救急医療の受診は
症状に応じて適切に

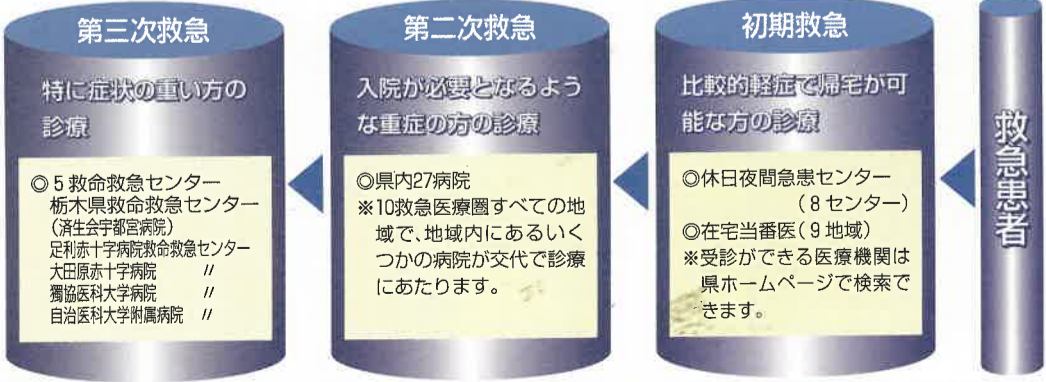
救急医療は、突然のケガ・病气から大切な命を守る医療。しかし、症状の軽い方が第二次や第三次の病院に集中してしまう、それぞれが本来の役割を果たせなくなるという問題も生じています。

症状が軽い方は、初期の医療機関で受診を。また、救急医療はあくまで一時的なものですから、日頃から何でも相談できる「かかりつけ医」を持つことも大切です。

県民の皆さんが、いつでも安心して良質の医療サービスを受けられるように、県では、今後も救急医療体制の整備などに取り組んでいます。



◇問合せ 県医事厚生課
TEL 028-623-1157



子どもエコクラブに集まれ！ 楽しく環境を学ぼう！

子どもエコクラブは、子どもたちによる、子どもたちのためのエコ(環境)活動を行うクラブ。県内では五十九クラブ約千四百人が活動しています。その中から、生き生きと活動している二つのクラブを紹介します。

地域で楽しく

小山市内にある大手スーパーでは、子どもエコクラブの趣旨に賛同し、子どもたちの環境学習や実践活動を応援しています。店頭でエコクイズ大会を実施して、子どもエコクラブの会員を募集。今年度は二十四名の会員と一緒に活動しています。

スーパーから出る廃棄物の処理などを見学する「お店探検」や水辺に住む生き物の観



今年の5月には、二宮町にある無農薬栽培のいちご畑を見学しました

サポーターの服部さん
「子どもたちは学校と違う地域の新しい友達をつくりながら、活動を楽しんでいます」



察、牛乳パックなどを利用したりサイクル工作など。子どもたちは家庭ではできない体験活動に、興味をもって取り組んでいます。

クラブのサポーターを務める副店長の服部さんは、「子どもたちが遊びの中で楽しみながら環境の勉強ができるよう、活動内容を工夫しています。企業として地域とのつながりも持てますし、こういった活動が社会貢献になれば」と話します。

家族で楽しく

家族全員で子どもエコクラブに参加しているのは、宇都宮市に住む大橋さん一家。もともと自然の中で遊ぶことが好きで、普段の生活の中でのエコ活動に関心を持っていました。子どもエコクラブを知ったときは「いつも家でやっていることかな」と思い、参加しました。

「エコ活動といっても特別なことをしているわけではありませんよ」とサポーター役の母親の孝子さん。米のとぎ汁を家庭菜園にやったり、近くに出かける時は自転車を



クラブ名は「チームエコエコ」
今年の夏は太郎山へ。登山道の途中でシカの骨を発見してびっくりしました

使うようにしたり。「ちよつとしたことに気をつけて、環境にやさしいことを心がけていくだけです。押しつけではなくて、子どもたちが親の行動をみて、自然に物を大切にする心を身につけていく

誰でも、いつでも
どんなことでもOK!
できることから
はじめよう!



子どもエコクラブ
イメージキャラクター
「エコまる」

はじめよう！子どもエコクラブ

◎子どもエコクラブってどんなことをするの？

**エコロジカル
とれーにんぐ**

入会すると、生活の中で地球や環境のことを楽しく考えるプログラムを紹介したテキストが届きます。誰でも簡単に始められるメニューがもりだくさん！

エコロジカルまくしょん

子どもたちがクラブで行う自由なエコ活動です。どんなことでもOK！



...などなど

エコロジカルこみゅにけーしょん

全国の他のクラブと、手紙や訪問などで交流を深めます

応募方法

- ◎数人から30人くらいの仲間(小中学生)とサポーター(大人)を集めて、市町村の環境担当課に登録してください
- ◎入会金や会費はかかりません。いつでも登録できます
- ◎一年間がんばると「アースレンジャー認定証」がもらえます

子どもエコクラブから エコ活動を始めよう

県では、次の世代を担う子どもたちが、環境について考え、環境にやさしい生活を実践できるよう、気軽に環境学習できる場を提供することが大切と考えます。子どもエコクラブは、こうした環境学習のひとつ。子どもたちの自由なエコ活動を応援するものです。

より多くの子どもたちに、子どもエコクラブに参加し、継続して活動してもらおうと、県では、独自に壁新聞コンテンツなどを実施し、創意工夫にあふれた活動を表彰したり、他の会員に紹介したりしています。

さらに、今年度は会員同士の交流会を開催するなど、子どもエコクラブの活動の輪を地域に広げていきたいと考えています。

皆さんも、子どもエコクラブにチャレンジして、身の回りの小さなことからエコ活動を始めてみませんか。

考えてみませんか？とちぎの水環境を

～皆さんのご意見をお寄せください～

栃木県の水環境を守るため、県では「栃木県水環境保全計画(仮称)」の策定に取り組んでいます。これまで調査・検討した内容を中間的に取りまとめましたので、県民の皆さんのご意見をお寄せください。今後、計画を作成する上で参考とさせていただきます。

- 中間とりまとめは、県情報公開相談室、各県民センター、県のホームページなどでご覧いただけます
- ご意見は、住所・氏名・電話番号を記載し、郵送・FAX・Eメールで県環境政策課へお送りください
- 募集期間 9月30日(火)まで(必着)

クリーンアップフェア2003におこしく下さい

- 日時 10月25日(土)・26日(日)
午前9時30分～午後4時30分
 - 場所 県子ども総合科学館(宇都宮市)
 - 内容 環境に関する展示、エコクイズやゲームなど
- ※子どもエコクラブ交流会も開催されます！
詳しくは県環境政策課までお問い合わせを



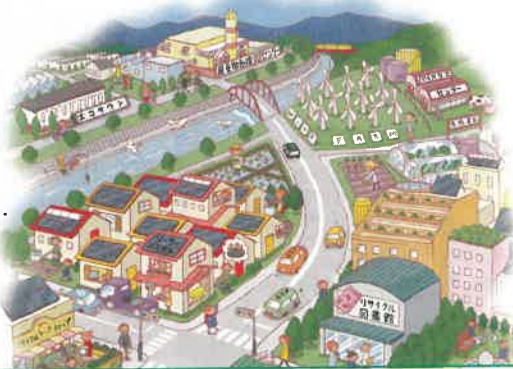
昨年ようす

みんなでつくろう「とちの環」

～とちの環県民会議の会員を募集中です～

- 「とちの環県民会議」は、県民や事業者が一体となって地球温暖化対策や循環型社会づくりをめざす組織です。設立総会は11月22日(土)に開催予定です
- 趣旨に賛同いただける会員を募集します
- 会員には環境保全に関する情報をお送りします
- 年会費(1口)
個人会員 2,000円程度
任意団体・NPO法人会員 5,000円程度
法人・行政会員 20,000円程度(平成16年4月以降からご負担いただけます)

- 申込方法
所定の入会申込書により、郵送・FAX・Eメールで県環境政策課あてお申し込みください



◆申込先・問合せ 県環境政策課 〒320-8501(※住所記入不要) ☎028-623-3185 FAX 028-623-3182 e kankyo-seisaku@pref.tochigi.jp

みんなで学ぼう食と農！みんなで広げようとちぎの地産地消！
10月17日から26日は「食と農の郷とちぎウィーク」

県内各地で「食」や「農業」とふれあい、考えあう様々なイベントを開催します。ぜひお出かけください

10月17日(金)	とちぎ地産地消の集い(宇都宮グランドホテル) ※地元産農産物を食べよう！シンポジウムほか 県農政課 ☎028-623-2284
18日(土)	酪農試験場公開デー(ホルスタイン共進会同時開催) ※乳搾りや獣医さん体験、クイズに畜産物販売など 同試験場 ☎0287-36-0230
19日(日)	親子農業農村体験バスツアー・畜産コース(18日) ※農家や酪農試験場、なかがわ水遊園をめぐろう ・園芸コース(19日) ※農家や農産物直売所をめぐろう とちぎ花センター秋のフラワーフェスティバル ※秋の花、楽しいイベント満載でお待ちしています 同センター ☎0282-55-5775
20日(月)	消費者体験講座(県農業大学校) ※消費者の皆さん、農業体験をしてみませんか 県農業大学校 ☎028-667-4944
22日(水)	県産農産物活用学校給食デー ※県内の小中学校等の給食に地元の農産物を使った献立が登場します 今日の給食はひと味がう！ 県経済流通課 ☎028-623-2298
23日(木)	
24日(金)	ふるさと栃木フェア(マロニエプラザ) ※おなじみ！ふるさとの味の祭典。新鮮な農産物の展示・販売をはじめ、県内各地の特産品などが大集合します 同実行委員会 ☎028-623-2333
25日(土)	
26日(日)	



▲畑にプロックコリーの苗を植えるサポーターの皆さん。できるだけ農産物を使わずに育てることに。「今から収穫が楽しみ」



▲ほうれん草農家との交流。「サポーターの声を生産活動に生かしたい」と生産者の皆さん

体験して農業を知る
交流で広がる安心

八月二十三日、県農業試験場で「食と農のサポーター」の農業体験が行われました。当日は約三十人の方が参加。大根、白菜の種まきやプロックコリーの苗を植え、気持ちよ

い汗を流しました。参加者は「家庭菜園を作っています、農業の話や作物づくりのポイントなど、試験場の方と丁寧な会話ができて参考になりました。もっと勉強したい」と話します。十月の収穫まで、草取りなどの管理作業も行う予定です。

「食と農のサポーター」は、とちぎの農業・農村のことを身近な人へと伝えていただく、農業・農村の応援団。県では、サポーターの皆さんに、とちぎの食と農についてもつと知っていただくため、農産物に関する情報提供や交流会などを積極的に行っています。

”とちぎ”の食と農をつなぐ
「食と農のサポーター」活動中



また九月三日には、サポーターと生産農家の交流会を開催。ほうれん草の生産現場を訪ねた後、減農薬栽培の取り組みなどについて熱心に意見を交換しました。「自分の目で安全を確認できて安心しました」と参加者の皆さん。県では、こうした取り組みをさらに充実していくこととしていきます。

食と農をつなぐため
広く情報発信を

「食の安全」への関心が高まるなか、健康で安全安心な食生活や農産物に関する情報を広く発信していくことが重要となっています。そこで県では、「食と農のサポーター」の皆さんに農業体験や交流会等を通して、とちぎの農業・農村のことをもっと知っていただきたい、そして、その情報を身近な方へ伝えるなど、情報発信のお手伝いをしていただきたいと思います。

「食と農のサポーター」は、食(消費者)と農(生産者)と

をつなぐ、とちぎの農業・農村の応援団。皆さんも、「食と農のサポーター」になって、食と農について一緒に考えてみませんか。



食と農のサポーター
川又美津子さん

野菜は形より安全・安心
もっと情報がほしいですね

子どもがアトピーだったこともあり、健康によい「食べ物」に関心を持っていました。友人に教わりながら無農薬でお米や野菜を作っています。買う場合も、多少形が悪くても地元産や安全なものを選びます。虫がついているくらいの方が自然だし安心できます。でも、残念なのはここで買えるかなどの情報が少ないこと。同じような関心を持ったサポーターと、お互いに情報交換がしたいですね。

◇問合せ 県農政課
TEL 028-623-12284

食と農を考えるイベント
※地産地消・食育リレートークなど。「食」と「農」について考えませんか
県農政課 ☎028-623-2284

ふるさと栃木フェア(マロニエプラザ)
※おなじみ！ふるさとの味の祭典。新鮮な農産物の展示・販売をはじめ、県内各地の特産品などが大集合します
同実行委員会 ☎028-623-2333

カラダにとちぎ

http://www.tochigipower.com

今月のおいしい食材

かぼちゃ

地産地消 地元の恵みを地元で食べよう！



かぼちゃは県内各地で栽培されていますが、烏山町を中心に栽培されている「中山かぼちゃ」は地域ブランド農産物として認証された特色あるブランドかぼちゃ。お尻が突き出ている独特の風貌ですが、ポクポクしてとても美味しいかぼちゃです。

かぼちゃは緑黄色野菜の王様とも言われており、カロチンやビタミンA、B₁、B₂、Cを多く含んでいます。

ご飯のおかずやデザートに材料としても広く使われているかぼちゃで、新しいメニューをお試しください。

とちぎのかぼちゃを使って かぼちゃのベーコン巻



〈材料〉(4人分)
かぼちゃ300g、ベーコン250g、塩・こしょう・乾燥パジル・ごま油各少々

〈作り方〉
①かぼちゃは6片に切り、固めにゆで、5mmの短冊切りにする。

- ②切ったかぼちゃに塩・コショウし、ベーコンで巻き楊枝でとめる。
- ③フライパンにゴマ油を引き、ころがしながら全体にこげ色をつける。
- ④乾燥パジルを入れ、落としがたをして出来上がり。

協力: (社)とちぎ農産物マーケティング協会



採火式後、交通安全の火をトーチにとりもって宇都宮市内をリレーし、交通安全を呼びかけました



防護服を装着した救助隊員が、バスの中から被害者を救出するテロ対策訓練の様子



福田知事は「独自の技術や製品にみがかきかけ、オンリーワン企業として飛躍してください」と期待を語りました

Topics 1 事故ゼロを願う「交通安全の火」を採火

九月二十一日からの「秋の交通安全県民総ぐるみ運動」に先駆け、八月二十八日、「交通安全の火」の採火式が県庁舎前で行われました。宇都宮市立東小学校の児童が「ろくろ」を使って火をおこし、交通安全灯のランプに分火。このランプは各市町村で行われる交通安全のイベントに使われます。

Topics 2 真岡市で総合防災訓練

八月三十一日、真岡市の鬼怒自然公園で栃木県と真岡市共催の総合防災訓練が実施されました。訓練は県南部を震源とする直下型地震を想定し、初期消火訓練や避難訓練が行われました。また、テロ被害に備え、生物化学テロからの救助訓練などが、本番さながらに行われました。

Topics 3 フロンティア企業を県が認証

八月四日、フロンティア企業の認証式が県公館で行われました。これは、独自の優れた技術や製品を持つ企業をフロンティア企業として県が認証するもので、今年度から新たにスタートした制度です。この日は九十一社をフロンティア企業として認証。県では、県産業技術センターの利便性を活用するなどの、認証企業を育成するための様々な支援を行うこととしています。



花歳時記

フシグロセンノウ(ナデシコ科)

茎を手折ると中が黒いのでこう名付けられました。ナデシコ科の植物らしく、花の付き方は包状になっています。この時期オレンジ色の野草は珍しく、林縁から可憐な顔を覗かすかすうにのぞかせています。

ウォッチングポイント

薄暗い林床に好んで咲きます。1本にいくつもの花を付けるので花期が長いのも特徴。10月上旬までが見頃です。



大接近! 話題の火星を見よう

- 火星や星座の観察をとおして、自然の神秘や偉大さにふれてみよう
- 9月22日(月)午後7時~9時
- 太平少年自然の家(栃木市)
- 参加無料
- 太平少年自然の家 ☎0282-24-8551**

森の集い「しっとり秋の花」

- 県民の森で秋の花や植物を観察しよう
- 10月2日(木)
- 午前9時~
- 定員 先着30名
- 参加無料
- 県民の森管理事務所 ☎0287-43-0479**

リンドウの花

日光自然博物館の催し

- 半月山から奥日光を眺めてみよう!
- 紅葉に染まる中禅寺湖や奥日光を楽しみましょう。山登り初心者対象
- 10月10日(金)
- 午前8時30分~午後3時30分
- 定員 15名
- 参加費 1,000円
- 申込締切 9月28日(金)必着
- 日光自然博物館 ☎0288-55-0880**

とちぎ花センターの催し

- 洋らん展
- 11/24(月)まで
- 大人420円
- 子ども210円
- 同センター ☎0282-55-5775**

県庁舎本館見学会のお知らせ

- 永年親しまれてきた県庁舎本館。解体工事の前に、正庁・旧貴賓室・旧議場・知事室を見学しませんか。簡単なコースガイドをご用意します
- 期日 9月19日(金)・20日(土)
- 受付時間 午前10時~午後3時



県庁舎整備室 ☎028-623-2083

文化情報 子ども総合科学館

宇都宮市西川町567 ☎028-659-5555 ●月・第4木曜

- プラネタリアム新番組「年少向け「つとむくんの星ぼうけん」」
- 一般向け「国際宇宙ステーション~宇宙探査の最前線~」
- あそびのワークショップ「びっくうき大作戦!」●9月21日(日)・23日(火)●みんなで「くうき」を使ってあそぼう
- パラエティサイエンス●9月27日(土)・28日(日)①午前10時30分②午後1時30分③午後3時30分
- 簡単で楽しい工作を楽しもう
- プラネタリアム特別番組「星空さんぽ」●10月4日(土)午後3時~●秋の星座の探し方と星占いの12星座について
- ミニ工作室「葉脈しおりを作ろう」●10月11日(土)①午前11時15分~②午後2時15分~●定員 各回30名

文化情報 県立美術館

宇都宮市桜4-2-7 ☎028-621-3566 ●月曜日

- 常設展・テーマ展示「赤と青」●12月23日(火)まで●当館の所蔵品から主に赤や青の色彩が中心に表現されている作品を選んでいます



「私の青い湖」キキ・スミス 1995年

- 第57回栃木県芸術祭美術展「洋画・彫刻・工芸」●9月27日(土)~10月9日(木)●県内公募の洋画・彫刻・工芸部門の入選・入賞作品を招待作品とともに展示

文化情報 県立博物館

宇都宮市睦町2-2 ☎028-634-1312 ●月曜日

- 企画展「ものが語る人と文化 -ミュージアム・コレクション再発見」●10月4日(土)から開催
- ◇企画展オープニング講座「学芸員のおすすめ品~ミュージアム・コレクションから」●10月4日(土)午前10時30分~正午●定員200名
- ◇記念講演会「博物館資料のコレクションと歴史学」●講師 黒田日出男さん(東大史料編纂所教授)●10月13日(月)午後1時30分~3時30分●定員200名



騎馬武者像(模本)

文化情報 県総合文化センター

宇都宮市本町1-8 ☎028-643-1010

- 小劇場演劇シリーズNo.1「昨日・今日・明日」~ああ結婚~
- 9月21日(日)午後6時30分開演
- 出演/松金よね子、岡本麗、田岡美也子ほか●好評発売中



- 岡崎ゆみ(ピアノ)0才まえのコンサート●10月26日(日)午後2時開演
- 妊娠安定期を迎えられたお母さんとおなかの赤ちゃんへ贈るクラシックコンサート●好評発売中

栃木県のお知らせ

身障者用駐車場 身障者用トイレ

募集

知事と話してみませんか!

- とちぎふるさとづくりフォーラムin鹿沼
- 県政について日頃感じていることなどを聴かせください●10月18日(土)午後1時30分~
- 会場 ウェルサンピア栃木(鹿沼市)●応募資格 県内に在住・通勤・通学する満18歳以上の方●申込み 住所・氏名・年齢・電話番号・性別・職業(学校名)・託児(就学前)の希望の有無を、電話・ハガキ・FAX・Eメールで●応募締切 10月6日(月)
- 県広報課(〒320-8501*住所不要) ☎028-623-2158 FAX)028-623-2160**
- e) kocho@pref.tochigi.jp**

少子化問題を考える-私の提案-若い世代の皆さんの作文を募集中

- 少子化問題の解決への提案や将来への展望など、生活の中で感じたことを自由に表現してください(400字詰め原稿用紙5枚以内)●優れた作品に最優秀賞(図書カード5万円分)等をお贈りします●応募資格 県内に在住・通勤・通学する16歳~25歳の方●応募締切 11月10日(月)●応募方法など詳細は問合せを
- とちぎ青少年こども財団 ☎028-621-1611**

栃木県産業技術大学校入学生募集

- 平成16年度の入学生を募集中です●応募資格 来年3月高校卒業予定者等●募集期間 推薦/9月25日(木)~10月3日(金)、一般/10月30日(木)~11月7日(金)●試験日 推薦/10月17日(金)、一般/11月21日(金)●募集学科は次のとおりです。詳細は各校へ問合せを
- 県央校(宇都宮市) ☎028-689-6374**
- 機械技術科、制御システム科、自動車工学科、建築設計科、設備システム科
- 県北校(那須町) ☎0287-64-4000**
- 生産エンジニア科、通信エンジニア科、サービスエキスパート科
- 県南校(足利市) ☎0284-91-0803**
- 機械システム科、電気システム科

催し

ながわ水遊園の催し

- 写生コンクール作品展●9月23日(火)~10月26日(日)●ながわ水遊園の情景やながわの景色、水遊びの思い出を描いた小学生の作品を展示します●作品展は入場無料です。ぜひご来場ください●**同園 ☎0287-98-3055**

風土記の丘資料館の催し

- 【なす風土記の丘資料館 ☎0287-96-3366】
- 巡回展「栃木の遺跡~最近の発掘調査の成果から~」●9月26日(金)~11月9日(日)●湯津上館開催●発掘調査の出土品を展示●記念講演 10月5日(日)午後1時30分~●**小川館開催(先着60名・電話申込み)**
- 【しもつけ風土記の丘資料館 ☎0285-44-5049】
- 企画展「律令国家の誕生と下野国~変革の7世紀社会」●10月9日(木)~11月24日(月)
- 古墳時代から律令時代へ移り変わる時代の東国の遺跡を紹介●記念講演 10月19日(日)午後1時30分~(先着70名・電話申込み)

とちぎ動物愛護フェスティバル

- 9月23日(火)午前10時~午後3時●県動物愛護指導センター(宇都宮市)●内容 わんわんパレード、動物なんでも相談、しつけ方教室、わくわく馬車、人形劇ほか●**入場無料**
- 同センター ☎028-684-5458**



森づくりフォーラム2003

- 10月4日(土)~5日(日)1泊2日●唐沢青年の家(佐野町)●講話や森林での観察・実習などを通して森について学びましょう●定員 先着50名●参加費 4,000円程度●**申込締切 9月24日(水)**
- 同青年の家 ☎0283-22-2543**

とちぎ木材フェスティバル

- もくもくまつり2003・木の県推進大会
- 10月5日(日)午前9時~午後4時●ろまんちっく村「さわやか広場」(宇都宮市)●内容 木のボウリングや木のサッカー、木工教室、自由工作、熱気球体験、クイズ大会ほか●**参加無料**
- 同実行委員会 ☎028-652-3687**

まるごと体験 四季の森まつり

- 10月5日(日)午前9時15分~午後3時●南那須少年自然の家●秋の森の楽しみ方はいろいろ。3つのメニューから選んでください①スポーツの秋(四季の森宝さがし等)②食欲の秋(ピザ・栗まんじゅうづくり)③芸術の秋(七宝焼や間伐材を使った工作等)●定員 150名●**参加費100円と材料費**●**申込締切 9月30日(火)**
- 同少年自然の家 ☎0287-88-9341**

とちぎ森と緑のつどい(栃木県育樹祭)

- 10月18日(土)午前10時~午後3時●会場 県民の森(矢板市長井)●内容 森林づくり活動(ヒノキの間伐・枝打ち)やネイチャーゲームなど
- 参加無料**●**申込締切 10月3日(金)**
- 栃木県緑化推進委員会 ☎028-643-6801**



とちぎ海浜自然の家「親子の集い」

- 11月8日(土)~9日(日)1泊2日●アクアワールド・大洗水族館の見学、いもほり・塩づくり・干物づくりなど●**参加費 小学生3,400円、中学生3,600円、大人6,400円**ほか●**定員 150名**●**申込締切 10月8日(水)**
- 同自然の家(茨城県旭村) ☎0291-37-4004**

講座

仕事と家庭の応援セミナー

- 10月24日(金)午後1時30分~3時30分●小山プリオパレス●講演「未来を創る、主役は私」木場弘子さん(キャスター)●**受講無料**●託児あり(要予約)●**定員 先着120名**●**申込締切 10月14日**
- 県小山労政事務所 ☎0285-22-4032**

パルティの講座

- 資格取得講座●10月29日~12月10日の水・金曜日(11/14を除く、全12回)●3級販売士検定に向けての講義●**対象 18歳以上の女性**
- 受講料10,000円、教材費3,000円**●託児あり(要予約)●**定員 30名**●**申込締切 10月10日(金)**
- とちぎ女性センター ☎028-665-7706**

高齢者の就業のための講習会

- 対象 60歳代前半の求職者●**受講無料**●テキスト代は受講者負担●**定員 各20名**
- パソコン(文書作成)実務講習**●10月20日(月)~24日(金)●**小山市**●**申込締切 10月3日(金)**
- パソコン(表計算)実務講習**●11月6日(木)~19日(水)●**矢板市**●**申込締切 10月17日(金)**
- 警備業技能講習**●11月10日(月)~18日(火)●**大田原市**●**申込締切 10月24日(金)**
- 県シルバー人材センター連合会 ☎028-627-1179**

低公害車セミナー宇都宮

- 環境にやさしい低公害車の導入促進に向けて
- 10月8日(水)午後0時30分~4時20分●県産業技術センター(宇都宮市)●講演及び低公害車の展示●**定員 150名**●**参加無料**
- 申込締切 9月26日(金)**●**詳細は問合せを**
- 栃木運輸支局 ☎028-658-7011**

案内

住宅・土地統計調査にご協力ください

- 10月1日現在で、住宅・土地統計調査が行われます●調査をお願いするお宅に知事が任命した調査員がお伺いしますので、ご協力をお願いします●**県統計課 ☎028-623-2246**

マナーアップ! あなたが主役です

- 秋の交通安全県民総ぐるみ運動
- 9月21日(日)~30日(火)●一人ひとりが「事故を起こさない、事故に遭わない」意識を持って「交通事故ゼロ」を目指しましょう

7 information とちぎテレビ 県の広報番組

- クローズアップとちぎ**
- 9月21日 とちぎの道づくりの基本方針
- 毎週日曜日 9:00~9:30 28日 県政Q&A
- (再)月曜日 10月5日 循環型社会の構築
- 22:00~22:30 12日 子育て環境づくり

- なるほどとちぎ**
- 9月20日 安全・安心のまちづくり~身近な犯罪抑止②~
- 27日 なるほどとちぎ! 読書習慣獲得法
- 10月4日 県税って?
- 11日 住宅月間~快適な住まいづくりをめざして~

- 県政ひとくちメモ**
- 9月18日 秋の交通安全県民総ぐるみ運動
- 毎週木曜日 25日 きのこによる食中毒防止
- 「イブニング6」内 10月2日 LPガスを安全に
- 18:20~18:25頃 9日 食と農の郷ウィーク

- とちぎ教育新事情**
- 9月20日 とちぎふるさと発見隊
- 27日 いきいき栃木っ子3あ
- 毎週土曜日 17:30~17:50 い運動の推進
- (再)月曜日 10月4日 日光杉並木を守ろう!
- 12:10~12:30 11日 栃木の子どもをみんな

- とちぎかわら版**
- 9月20日 県の行事、募集案内、イベント情報
- 毎週月~金曜日 8:10~、12:05~、21:55~などを5分間でお知らせします